

事前課題

第 22 回 神奈川県障害者技能競技大会

ホームページ 事前課題

1. 競技の概要

競技参加者は、この事前課題にしたがって競技当日までに競技参加用の作品を作成しておくことが求められる。当日は、その作品を元に新たに示される課題に取り組む。

2. 競技時間

60 分

3. 課題の概要

神奈川県のある市の地域活性化協議会から、市・町にあるお店、レジャー、宿泊施設などの活性化を目的として、集客がはかれ地元が元気になる魅力あるホームページの作成の依頼がありました。

事前課題では次の 3 つのコンテンツを最低限用意する。

「市・町の特長が強調された紹介コンテンツ」「各施設が検索できる画面および検索結果一覧コンテンツ」「施設の概要紹介コンテンツ」

※この事前課題の制作物は、競技当日にも使用する。

4. 要件

コンテンツの要件

[概要]

これまで訪れたことがない方、近隣住民の方、地元住民の方も行ってみたいと思っけるような紹介ページの作成をお願いします。

[想定する閲覧者について]

休日に計画を立てて行ってみたい方、1 日周辺で楽しめる場所を探している方

[最低限必要な要件について]

- ・ 「施設の概要紹介コンテンツ」の作成 施設の特長がわかり易いようにする。

- ・ 施設検索はカテゴリなど利用者が検索しやすい項目を設定する
- ・ 検索結果一覧は、単純な羅列ではなく視覚的にわかり易い一覧とする。
- ・ 施設の移動が徒歩、電車、車など交通手段がわかるようにする。
- ・ 写真やイラストを使用する場合はオリジナルを用意してください。動画は必要ありません。
- ・ 利用者は高齢者、障害者も意識してください
- ・ スマートフォン利用者が増えていることもあり、レスポンシブデザインによるスマートフォンにも対応ください。

[その他の仕様]

- ・ ソースコードは見やすく分かりやすく記述すること
- ・ 他人の力を借りず、競技者自身が今回の競技の為に新たに作成すること
- ・ 動画、画像、音楽、文章等はオリジナルのものを用意し、他人の知的財産権を侵害しないこと
- ・ JavaScript は使用しても良い。
- ・ 文字コードは UTF-8 を使用すること
- ・ 障害のある方に配慮したホームページを作成すること
- ・ 仕様に書かれていないことについては、自身で判断して構わない

5. 作品提出方法

作成した作品は CD/DVD1 枚に保存し、大会当日競技会場へ持参すること。

6. 当日課題について

課題は競技開始後に示される。概ね 2～3 題 (15%～20%) 程度変更する。

1 日楽しんでいただけるようなモデルコースのコンテンツを追加する、投稿コンテンツを追加するなど

7. 当日にすること

- ・ 競技が開始されたら次のようにして課題に取り組むこと
- ・ 事前課題として作成してきた作品を競技用 PC にコピーし編集・閲覧を可能にする
- ・ 必要があれば、用意した素材(アイコン、イラスト、写真など)も PC にコピーする。
コピーするものは原則フリーのものが望ましい
- ・ 特別に高価な素材などの利用が認められる場合には、利用を控えていただく場合がある。あるいは加点の対象としない
- ・ 素材については、CD/DVD に入れて持参すること。但し、1 枚までとする

8. 競技当日の作品提出方法

作成した作品は、大会主催者が用意する競技用「USB メモリ」内の「作品」フォルダ内に提出する。「作品」フォルダ内は、サブフォルダの作成も含め、適宜設定してよい。

9. 競技における使用機器・ソフトウェア

OS : Microsoft Windows 10 Pro

ブラウザソフト : Google Chrome

テキストエディタ : Tera Pad Ver1.2.9

画像閲覧ソフト : PictBear Ver2.04

10. 注意事項

- ・ 競技に使用するパソコン、OS、ソフトウェアは、主催者側で用意したものとする
- ・ 競技パソコンの Windows に標準インストールされているソフトウェアは自由に使用して良い
- ・ ソフトウェアは大会主催者が用意するものを使用し、他のソフトウェアの持ち込みは認めない
- ・ 市販の参考図書は原則 1 冊までの持ち込みを認める。全部あるいは一部を点訳したものでも構わない(持ち込む参考図書は当日、内容を確認する)
- ・ ノートやメモ紙、印刷物などの紙媒体の持ち込みは認めない。違反が認められた場合

は、競技への参加を辞退してもらう場合がある

- ・ 競技中インターネット接続による Web ページの閲覧はできない
- ・ 障害特性により、競技参加において必要とする補助具等がある場合は、事前に事務局に申し出ること。ただし、競技の公平性や、会場設営の都合等を考慮した結果、必ずしも希望に添えない場合があること
- ・ これらの補助具等は、競技者自身が持参し、大会当日に競技委員立会いのもと導入する。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮はしないこと
- ・ その他については、競技委員の指示に従うこと

11. 採点方法

- ・ 課題で示した仕様に従って作成する。(基礎力)
- ・ 分かりやすく使いやすい。間違いなど含まない。(技術力)
- ・ 競技者のアピールポイントが良く伝わってくる。(訴求力)
- ・ 競技者独特のユニークさがある。(独創性)
- ・ 人を惹きつけるデザインになっている。(芸術性)
- ・ 障害の有無に関係なく誰でも利用できるように配慮されている。
(アクセシビリティ)

なお、採点は、競技当日に作成されたものを対象に行われる。
事前に持ち込まれた素材等については採点の対象とはならない。